

事業報告

(R7 年度)

社会福祉法人 清明福社会
建国ビハーラ

特別養護老人ホーム 建国ビハーラ
ケアハウス 建国ビハーラ
デイサービスセンター 建国ビハーラ
ヘルパーステーション 建国ビハーラ
建国ビハーラ 居宅介護支援事業所
小規模多機能型居宅介護事業所
認知症対応型共同生活介護

理事長報告

令和7年度事業報告

令和8年5月30日

理事長 石川 佳樹

基本理念 「うれし楽し」生きる喜びを感じ、安心できる生活の場の提供

基本方針 「敬い」「安心」「信頼」

- 運営方針
1. 利用者が住み慣れた場所で安心して過ごせるように支援する
 2. 働きやすい職場環境づくり
 3. 地域との連携強化

総括

令和7年度は、広域型入所系事業所では、令和6年度の介護中の事象の反省を受け、入所時において、利用者様のより詳しい状況を把握すること、利用者家族様との信頼関係を構築することを目標にし、また、在宅系事業所では、地域への働きかけと、利用者様家族様に寄り添ったケアを実践していくことを目標にして運営してまいりました。

その結果令和6年度の流れを受け、上半期より慎重に運営しておりました。その結果、入所系の事業所は下半期より徐々に稼働率が上昇に転じましたが、一方、在宅系事業所では、長期にわたりご利用していただく利用者様もいらっしゃいましたが、新規利用者獲得に苦戦しており、法人全体として増益には至りませんでした。また、昨今の物価高騰の影響により、給食費、光熱費、介護用品費、資材の価格が上昇し、支出が増え、経営的には、厳しい状況が続いております。

感染症に関しては、特養とてんまんグループホームで発生しましたが、これまでの経験から、迅速な対応ができ、以前のように拡大することなく、終息することができました。

行事に関しては、各事業所とも、コロナ以前の活動にもどり、季節に応じた企画や、外出など、積極的に実施することができました。

令和7年度は、特養においては、適材適所の人員配置として、リーダークラスの配置転換を行い、試行錯誤の状況から始まった部分もありましたが、職員の入退職も大きな変化なく、職員同士の信頼関係もより深く築くことができ、各事業所とも事故なく着実に運営できた一年であったと思います。

令和7年度地域密着型事業については、小規模多機能、グループホームともに稼働率上昇につながりました。グループホームにおける正規職員、非正規職員体勢に対し、派遣職員がその2割を占めており、雇用内容について負担軽減を図るため、調理については、クックチル方式に転換。介護を中心としたケア内容で進めています。

具体的実施内容利用者が住み慣れた場所で安心して過ごせるように支援する。

① 医療ニーズの高い利用者の対応

協力医療機関と随時、柔軟な診療体制を取り、適切な緊急対応に努めました。

また、ケアハウスでは、軽度認知症や、ご家族の支援が困難等の理由により、往診の依頼が増

加しました。その結果、体調不良時には迅速な対応がとれたこと、また、訪問診療と訪問看護との連携により、利用者の病状や服薬状況が把握しやすい状況になりました。

- ② 利用者の尊厳を守り、プライバシーに配慮したケアの構築
虐待防止・身体拘束委員会の強化し、会議の中で、事業所内の問題点や、現状を話し合う機会を設け、未然に防ぐよう働きかけることができました。
虐待セルフチェックの実施をし、自分の介護観の見直しができました。

2. 働きやすい職場環境づくり

① 資格取得支援

介護福祉士の資格取得のための実務者研修の受講と介護支援専門員の更新研修の受講支援
受講費用の支援と日程の配慮をしました。
結果、介護福祉士資格取得者 2 名。

② アウトソーシング

介護業務に専念できる環境をつくるため、共用部分の清掃関係は業者に委託し、調理・介護補助的な業務は高齢職員に担当していただくなど、業務の効率化をはかりました。

3. 地域との連携では、本部、てんまんとともに地域の消防団および、地域住民様の参加による防災訓練の実施をおこなった。

月に 1 度、認知症カフェ、子ども食堂の実施。

ケアハウスでは、地域のカフェ、スーパー、コンビニなど、地域のコミュニティに積極的に参加させていただきました。

令和 7 年度 特別養護老人ホーム

【実施方針】 基本に立ち返り、ルールに沿った特別養護老人ホーム運営を行う。

- ①「うれし楽し」の基本方針に向け、外出レクやイベントを通じ利用者、職員が共に楽しい施設を目標に、過ごしやすい施設となれるよう進めます。
- ② 入所調整の手順における基本的ルールを守ること、リスク管理においては、各サービス担当者がリスクを共有し、チームマネジメント強化を致します。

・年間稼働率 常時優先入所順位を確定し、退所、入所間の空所期間短縮を進め、
年間平均において特養 95%稼働、ショートステイ 80%を目指します。

【運営報告】

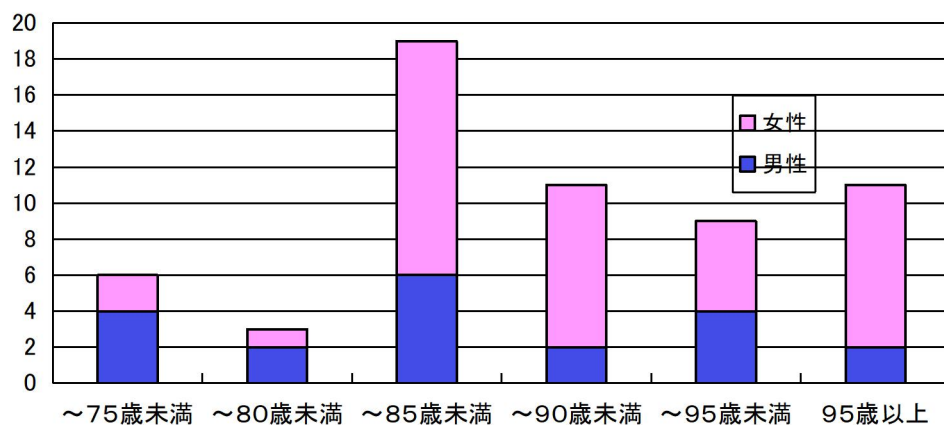
1. R6 年度の介護中の事象を教訓に、入所手順を守ること。ご利用者様の体調管理を重点に業務を進め R7 年度では重大事故はなく、終えることができました。
- 2 リスクマネジメントにおいては、年 2 回の研修、年 4 回の委員会を実施。各サービス担当者がリスク状況を共有し、対応致しました。
- 4 入所稼働率については、4 月から 6 月までは、昨年度の空き状況を引きずり 80%程度の利用。7 月以降 90%に乘せるが、1 月以降 3 月にかけて下降しました。
ただし、前年度比は上回る結果となりました。
- 5 施設内での催物や外出企画を実施し、利用者様の QOL 向上に努めました。

利用者の状況

□ 年齢構成

(令和8年3月31日現在)

	現員	最高年齢	最低年齢	平均年齢	全体平均
男性	20	98	60	82.7	85.1
女性	39	100	66	86.4	



□ 要介護度状況

(令和8年3月31日現在) (人)

要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	計	平均介護度
0	0	24	22	13	59	3.81

□ 入退所状況

(令和8年3月31日現在) (人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
入所	3	2	2	0	5	3	3	0	0	1	1	2	22
退所	4	1	2	0	3	2	0	1	1	2	3	2	21

□ 平均在籍期間

(令和8年3月31日現在) (人)

平均在籍期間	男	1年4ヶ月
	女	2年6ヶ月
	計	2年3ヶ月

□ 実入院者数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
入院	4	8	1	2	10	5	4	7	5	6	9	2	63

□ 年間月別実績

(令和7年度)

定員	月	延べ在籍者数	ベッド稼働率
64	4月	1634	85.1%
	5月	1674	84.3%
	6月	1679	87.4%
	7月	1774	89.4%
	8月	1755	88.4%
	9月	1693	88.1%
	10月	1873	94.4%
	11月	1842	95.9%
	12月	1897	95.6%
	1月	1820	91.7%
	2月	1562	87.1%
	3月	1764	88.9%
	年間	20967 (昨年度 20790)	89.7% 昨年度 88.1%

◇ 建国ビハーク指定短期入所生活介護事業所 ◇

利用実績

(R7年度)

定員(人)	月	延べ利用者数 (人)	ベッド稼働率 (%)
16	4	196	40.8
	5	298	60.0
	6	326	67.9
	7	361	72.7
	8	346	69.7
	9	365	76.0
	10	341	68.7
	11	267	55.6
	12	314	63.3
	1	324	65.3
	2	297	66.2
	3	329	68.5
令和7年 合計		3764	64.4
令和6年度実績		3337	57.1

令和7年度 ケアハウス

【実施方針】

- ① 稼働率90%以上（入居者32名以上）
- ② 利用者様の利便性の向上（ショッピング等）
- ③ イベント等（外出支援 日帰り旅行等）の充実

【運営報告】

- ① 令和7年度は新規入居者様8名、退去者8名、稼働率は74.2%、入居者平均26名
自宅の老朽化、配偶者の他界により独居となられるなどの理由で、お申し込みを頂きました。
退去者8名様については、介護が必要になる、または入院による理由で退去とされています。
- ② これまで定期便としてのイオンお買い物ツアーに加え、パン屋さんや喫茶店などの便を増やし楽しんで頂いています。
- ③ ヨガ教室、訪問販売の機会を増やし楽しんで頂きました。

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
入居	1	1	0	1	0	2	0	2	1	0	0	0	8
退居	0	0	1	0	0	2	0	2	1	1	1	0	8

退居理由

	有料	医療付施設	特養	死亡	計
男性	0	2	2	0	4
女性	2	1	1	0	4

月別入居者数（初日在籍）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
入居者数	26	25	25	26	26	27	25	26	28	26	27	27

3月31日在籍 男性 10名 女性 17名

入居者年齢構成

年齢	～65	66～69	70～74	75～79	80～84	85～89	90～94	95～100	計
男性	0	1	3	2	2	2	0	0	10
女性	0	1	2	1	2	4	5	2	17
合計	0	2	5	3	4	6	5	2	27

平均年齢 男性：79 歳

女性：82 歳

介護認定状況

	自立	要支援 1	要支援 2	介護 1	介護 2	介護 3	介護 4	介護 5	合計
男性	5	2	1	1	1	0	0	0	10
女性	7	2	3	3	2	0	0	0	17
計	12	4	4	4	3	0	0	0	27

令和7年度 デイサービスセンター

【重点項目】

- ① 基本的なサービス（入浴、食事、レクリエーションなどの介護サービス）を充実させる
- ② 季節のイベントなど楽しんで参加していただけるようなレクリエーションを充実させる
- ③ 体操や脳トレ問題など、機能訓練を充実させる
- ④ 数値目標 1日平均10名以上 登録者数20名 稼働率60%

【運営状況】

- ・誕生日会・麻雀などのレクリエーションの実施。
- ・一人ひとりを理解するように努め、安心して通って頂ける事業所を目指す
- ・計画書などの書類を不備なく作成し、整理するよう努める

1. 利用者の状況

<要介護度別状況>

(令和8年3月31日現在) (人)

要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
0	2	3	2	2	0	0	9

性別 男性 3名 女性 6名 (前年度: 14名)

<月間利用状況>

令和7年度 ※ () は前年度

定員20名

月	営業日	延べ 利用者数	1日平均 利用者数	新規 利用者数	稼働率 (%)
4	22 (26)	91 (103)	4.1(4)	2 (1)	20.6(19.8)
5	14 (27)	78 (110)	3.6(4.1)	0	27.8(20.3)
6	12 (23)	68 (101)	5.7(4.4)	1	28.3(21.9)
7	14 (26)	84 (112)	6(4.3)	2	30(21.5)
8	13 (26)	72 (112)	5.5(4.3)	0	27.6(21.5)
9	13 (22)	63 (92)	4.8(4.2)	1	24.2(20.9)
10	13 (25)	56 (109)	4.3(4.4)	0	21.5(21.8)
11	13 (26)	67 (97)	5.2(3.7)	0	25.7(18.6)
12	13 (24)	49 (85)	3.8(3.5)	1	18.8(17.7)
1	12 (21)	43 (66)	3.6(3.1)	0 (1)	17.9(15.7)
2	12 (20)	44 (71)	3.7(3.6)	1 (1)	18.3 (17.7)
3	12 (22)	38 (75)	3.2(3.4)	0	15.8(17)
合計	163 (288)	760 (1133)	4.6(3.9)	8 (3)	23(19.5)

終了理由 1.入所 3名 2.死去 2名 3.他施設利用 1名 4.入院 1名

＜住所別利用者数＞

令和 8 年 2 月 28 日現在（人）

守山区	春日井市	尾張旭市	ケアハウス	合計
3	1	0	5	9

＜居宅介護支援事業所別 利用者数＞

令和 8 年 2 月 28 日現在（人）

建国ビハーク	社会福祉協議会	単独居宅事業所	入所併設	合計
6	0	1	2	9

令和7年度 訪問介護

【重点項目】

利用者様のその日の精神状態などをよく観察し、利用者様がヘルパーに相談しやすい環境を整え、サービス改善と向上に努めます。

【運営状況】

1. サービス提供方法について、利用者様ができることは声掛けをしながら、気持ちよく過ごして頂けるよう、自立支援を促す。
2. 個別研修を行うことで、サービスの質の向上に繋がっている。
3. 業務会議やカンファレンスにて、利用者様の問題事例やサービスについての解決に向けて検討を行い、情報の共有化を図っている。

利用者状況

(令和7年度)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
生活	4	3	3	3	3	4	4	3	4	3	3	3	40
身体	5	4	4	4	4	4	4	4	4	3	3	4	47
身体+生活	10	11	10	10	12	12	10	12	13	15	15	11	141
総合事業Ⅰ	8	8	9	9	9	10	10	9	9	9	12	12	114
総合事業Ⅱ	0	0	0	0	1	2	3	2	2	2	2	1	15
総合事業Ⅲ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	27	26	26	26	29	32	31	30	32	32	35	31	357

前年度計 307 件

居宅別利用者状況

(令和8年3月31日現在)

建国ビハラー	あおきさん家	エトピア第2つくも	望みケアプラン
10	1	2	1
スローライフ心	花風ケアプランセンター	夢屋	瀬古マザー園
3	3	1	1
第二尾張荘	ツクイ		
4	4		

曜日別利用者数

(令和8年3月31日現在)

曜日	月	火	水	木	金	土	日	合計
平均	14	6	16	8	11	0	0	55

令和7年度 居宅介護支援事業所

【重点項目】

- ・地域包括ケアを基盤として、介護保険サービス等の円滑な調整を行う。
- ・住み慣れた自宅で、利用者、家族が安心して、在宅生活を過ごせるように居宅介護支援する。
- ・ケアマネジメントの質的向上により、利用者の自立支援に関与する。
- ・事例検討、評価、担当件数の確保

【活動内容】

- ・地域包括ケアシステムを基盤としてのケアマネジメント
ケアプラン作成、給付請求、認定調査、医療連携、退院支援
- ・介護予防委託業務（総合事業継続）
いきいき支援センターへの相談、報告、連携
- ・高齢者いきいき相談室の継続と充実
電話相談、訪問相談、地域や行政との連携
- ・能力向上とキャリア形成
能力向上研修、専門職研修

利用者実績状況

(令和7年度)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
予防給付	32	29	31	30	29	33	31	31	30	29	30	28	363
介護給付	54	53	54	52	49	50	49	46	47	49	50	50	603
合計	86	82	85	82	78	83	80	77	77	78	80	78	966

介護認定調査～在宅、外部委託

(令和7年度)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
認定調査実施件数	0	1	1	3	3	3	0	0	0	0	0	0	11

*10月～3月名古屋市調査適正化事業のため、調査センターが実施

高齢者いきいき相談室

(令和7年度)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
実績件数	0	0	1	0	0	0	0	2	2	1	0	0	6

契約終了者(予防・介護)

(令和7年度)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
契約解除	2	1	4	4	2	1	4	5	3	0	1	1	28

加算状況（予防給付）

（令和7年度）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
初回連携加算	0	0	1	1	2	1	1	1	2	0	1	0	10

加算状況（介護給付）

（令和7年度）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
初回加算	2	0	0	3	2	2	1	2	3	3	2	3	23
医療連携	0	0	2	1	0	1	2	1	2	1	0	2	12

介護度別 利用者実績状況

（令和7年度）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
事業対象者	1	1	1	2	1	1	1	1	1	0	0	0	10
要支援1	9	7	7	7	8	8	8	8	7	7	7	7	90
要支援2	22	21	23	21	20	24	22	22	22	22	23	21	263
要介護1	13	13	13	14	14	15	15	17	17	19	19	19	188
要介護2	20	19	20	20	18	18	18	16	19	18	17	17	220
要介護3	10	10	10	9	9	8	7	7	6	5	5	4	90
要介護4	6	7	7	7	7	8	7	3	3	4	6	7	72
要介護5	5	4	4	2	1	1	2	3	2	3	3	3	33
計	86	82	85	82	78	83	80	77	77	78	80	78	966

前年比－29

令和7年度 認知症対応型共同生活介護

【年間目標】

1. 利用者様の入居稼働率の向上をめざす。
2. 家庭的な雰囲気づくりを継続的に行う。
3. いつまでも自分らしい生活ができるケアをめざす。（介護・医療及び家族との相互連携）
4. 防災対策の充実を図る。
5. 感染症対策の充実を図る。
6. 事業所内各種設備の稼働状況を確認し、必要に応じて修繕を行う。
7. 地域社会との連携を図ることで、事業所が担う役割を明確化し実践する。
8. 上記目標達成のため、介護人材の育成と働きやすい職場環境の充実を図る。

【具体的実施内容】

1. 利用者様の入居稼働率の向上
 - ・令和6年度から空き状況が続いていたが、小規模多機能の利用者から入居希望があり、5月には満床となる。
 - ・高齢の利用者が多く、ADLの低下及び体調の変化に伴い、退去を余儀なくされる事例もあり、稼働率は97.6%となった。
2. 家庭的な雰囲気づくり
 - ・新たな食事配送業者と契約し、3食とも調理済み食材による提供になった。
日々の食材が手作りでなくなった分、盛り付けを手伝って頂いたり、お誕生日のケーキ作りやホットプレートを囲んでお好み焼きを作ったりするなど、家庭的な食事の雰囲気を味わっていただく工夫をした。
3. いつまでも自分らしい生活ができるケア
 - ・季節に応じた行事の開催、誕生日会、ヨガや書道教室の開催をし、利用者の健康づくりや、認知症予防のための活動を行った。その結果、日々の生活に彩りとメリハリをつけ、利用者の楽しみへと繋がった。
4. 防災対策
 - ・年2回の防災訓練の実施
5. 感染症対策
 - ・令和7年11月に3Fユニットにてインフルエンザ発症し利用者とスタッフ感染
感染対策を行なったが職員の感染が続き、人員に余裕がなくなり、利用者の感染拡大に陥ってしまった。
6. 事業所内各種設備の稼働状況の確認
 - ・施設車両の点検。
 - ・備品類の点検・作動の確認

7. 地域社会との連携

- ・認知症カフェでは、利用者自ら参加し、生きがいの持てる場所として実践すると共に、地域住民同士の交流の場と、地域住民の居場所作りのための活動となった。

8. 介護人材育成と働きやすい職場環境

- ・無資格者に認知症介護基礎研修の実施
- ・介護福祉士の資格取得のための実務者研修

□入退去状況

(R7年度) (人)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
初日在籍者数	17	18	18	18	17	17	17	18	18	18	18	17	211
入居	1	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	3
退去	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	2

□要介護状況

(R8年3月31日現在) (人)

要支援 2	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	計	平均
0	3	4	3	5	2	17	2.94

□年齢分布

(R8年3月31日現在) (人)

	75歳～79歳	80歳～84歳	85歳～89歳	90歳以上	計
男性	0	0	0	1	1
女性	0	1	1	14	16
計	0	1	1	15	17

□在籍期間

	1年未満	1年～2年	2年～3年	3年～4年	4年～	計
男	1	0	0	0	0	1
女	2	4	3	1	6	16
計	3	4	3	1	6	17

(R8年3月31日現在) (人)

□稼働率 : 利用者様の在籍率 (%)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	平均値
稼働率	92.0	100	100	100	99.0	94.0	94.0	97.0	95.0	99.0	98.0	94.0	96.8

□年間行事・研修

	行事	研修・訓練	地域貢献活動等
4月	書道教室 ヨガ教室 花見散策	接遇・メンタルヘルス	運営推進会議 (奇数月) 第3水曜日
5月	書道教室	救急救命・防災訓練	
6月	書道教室 ヨガ教室	感染症(食中毒)	
7月	書道教室 セタ会	認知症	
8月	書道教室 ヨガ教室 夏祭り	身体拘束・虐待防止	
9月	書道教室 敬老会	介護技術・情報伝達訓練	
10月	書道教室 ヨガ教室	感染症(ノロウイルス・インフルエンザ)	こども食堂 (毎月) 第4水曜日
11月	書道教室	認知症・防災訓練	
12月	書道教室 ヨガ教室 忘年会	腰痛予防	
1月	書道教室	個人情報保護法・職業倫理・法令遵守	認知症カフェ (毎月) 第4日曜日
2月	書道教室 ヨガ教室	身体拘束・虐待防止	
3月	書道教室 花見外出	事例検討・リスクマネジメント	

※毎週水曜日音楽レク 該当月お誕生日会

令和 7 年度 小規模多機能居宅介護

【 年間目標 】

1. 登録者 20 名をめざす。
2. 利用者様、ご家族様との信頼関係を築き、日々のご要望に沿ったサービスを臨機応変に提供していけるようにする。
3. 在宅での生活を継続できるように支援する。
4. 防災対策の充実を図る。
5. 感染症対策の充実を図る。
6. 事業所内各種設備の稼働状況を確認し、必要に応じて修繕を行う。
7. 地域社会との連携を図ることで、当事業所が担う役割を明確化し実践していく。
8. 上記目標達成のため、介護人材の育成と働きやすい職場環境の充実を図る。

【 具体的実施内容 】

1. 登録者 8 名
 - ・新規利用者 4 名
2. 利用者・家族との信頼関係を築くため、連絡を密にし、モニタリング、担当者会議の際に時間をかけ、要望に沿ったケアプランを実現できるように配慮した。
3. 利用者の生活スタイルを知り、地域の社会資源・介護サービスを柔軟に活用したケアプランの作成をした。
4. 防災対策
 - ・年 2 回の防災訓練の実施
5. 感染症対策

BCP 作成終了。今後は、地域の状況や、近年の自然災害を鑑み、適宜修正を行う。
6. 事業所内各種設備の稼働状況の確認
 - ・施設車両の点検。
 - ・備品類の点検・作動の確認
7. 地域社会との連携
 - ・認知症カフェ、子ども食堂の実施。

認知症カフェ・子ども食堂ともに、利用者自ら参加し、生きがいの持てる場所として実践すると共に、地域住民同士の交流の場と、地域住民の居場所作りのための活動となった。
8. 介護人材育成と働きやすい職場環境
 - ・無資格者に認知症介護基礎研修の実施

・介護福祉士の資格取得のための実務者研修

□新規登録者数

(R8年3月31日現在) (人)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
新規登録者数	0	0	0	0	1	1	0	1	0	0	0	1	4
月末登録者数	5	4	4	4	5	6	6	7	7	7	7	8	70
終了者数	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1

□
通
所・
訪
問・

宿泊

(R8年3月31日現在) (人)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
通所	128	106	94	107	109	129	120	95	133	140	138	154	1453
訪問	50	61	97	100	106	100	85	62	89	98	92	122	1062
宿泊	35	12	9	10	9	10	9	8	14	23	17	19	175

□年齢分布

(R8年3月31日現在)

	74歳以下	75歳～79歳	80歳～84歳	85歳～89歳	90歳以上	計
男性	2	0	0	0	0	2
女性	0	0	2	3	1	6
計	2	0	2	3	1	8

□
稼働
率：
最大

登録者数25名に対する利用者様の在籍率(%)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	平均値
稼働率	28	23	27	28	27	32	28	22	30	34	39	38	29.25

R7 年度地域福祉事業

〈子ども食堂 参加者〉

日付	大人	子ども	日付	大人	子ども
4 月	22	34	10 月	17	43
5 月	17	39	11 月	19	41
6 月	11	45	12 月	18	42
7 月	18	38	1 月	18	42
8 月	21	35	2 月	20	40
9 月	15	41	3 月	12	48

〈認知症カフェ 守山〉

月	参加人数	月	参加人数
4 月	26 名	10 月	20 名
5 月	27 名	11 月	18 名
6 月	24 名	12 月	19 名
7 月	22 名	1 月	19 名
8 月	17 名	2 月	17 名
9 月	18 名	3 月	26 名

〈認知症カフェ てんまん〉 ※()はボランティア数

月	参加人数	月	参加人数
4 月	13 名(3)	10 月	12 名(2)
5 月	12 名(2)	11 月	感染症により中止
6 月	13 名(2)	12 月	16 名(3)
7 月	18 名(4)	1 月	18 名(3)
8 月	18 名(4)	2 月	18 名(2)
9 月	12 名(2)	3 月	19 名(1)

〈フードパントリー〉

月	参加家族	月	参加人数
4 月	28 家族	10 月	26 家族
5 月	30 家族	11 月	28 家族
6 月	16 家族	12 月	25 家族
7 月	23 家族	1 月	29 家族
8 月	23 家族	2 月	25 家族
9 月	27 家族	3 月	25 家族

R7 年度研修

- 4 月 介護現場で気をつけたいプライバシー保護
①実地研修「AED 研修」
- 5 月 身体拘束の排除・高齢者虐待防止に関する研修①
- 6 月 感染症及び災害に係る業務継続計画（BCP）のための研修～感染症～
- 7 月 事故発生又は再発防止に関する研修①
- 8 月 倫理及び法令遵守に関する研修
- 9 月 感染症・食中毒の予防及び蔓延防止に関する研修①
- 10 月 ハラスメントに関する研修
②実地研修「BCP 机上訓練」1F デイルーム
- 11 月 認知症及び認知症ケアに関する研修
- 12 月 身体拘束の排除・高齢者虐待防止に関する研修②
- 1 月 事故発生又は再発防止に関する研修②
- 2 月 感染症・食中毒の予防及び蔓延防止に関する研修②
- 3 月 緊急時の対応に関する研修
③実地研修「腰痛予防研修」1F デイルーム
④オンブズマン訪問相談 成年後見制度について

R7 年度実習状況

教員免許 介護体験実習 R7.9/29～10/3 金城大学 4 名
 R7.10/6～10/10 東海学園大学 2 名
 R7.10/20～10/25 東海学園大学 3 名

職場体験実習 R8.1/5 守山高校 1 名

R7 年度 社会福祉法人清明福祉会 組織運営状況

5 月 27 日(火) 監事監査 (内容) 事業報告 決算報告

5 月 31 日(土) 理事会 (内容) 事業報告 決算報告

6 月 21 日(土) 評議員会 (内容) 事業報告 決算報告

11 月 29 日(土) 理事会 (内容) 中間収支報告

3 月 28 日(土) 理事会 (内容) 補正予算 次年度予算案 事業計画